

令和８年度「全国学力・学習状況調査」大阪市立小林小学校の結果

～分析から見えてきた成果・課題と今後の取組について～

区 名	大正区
学 校 名	大阪市立小林小学校
学 校 長 名	山本 武司

文部科学省による「全国学力・学習状況調査」について、令和８年４月に、６年生を対象として、「教科（国語・算数）に関する調査」と「児童質問調査」を実施いたしました。

大阪市教育局では、保護者や地域の皆様等に説明責任を果たすとともに、より一層教育に関心をお持ちいただき、教育活動にご協力いただくため、各学校が調査結果や調査結果から明らかになった現状等について公表するものとしています。

本校でも、調査結果の分析を行い、これまでの成果や今後取り組むべき課題について明らかにしてまいりましたので、本市教育局の方針に則り公表いたします。

なお、本調査により測定できるのは、学力の特定の一部であり、学校における教育活動の一側面に過ぎません。

１ 調査の目的

義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。さらに、そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

２ 調査内容

（１）教科に関する調査

- ・国語
- ・算数

（２）質問調査

- ・児童に対する調査
- ・学校に対する調査

３ 調査の対象

- ・国・公・私立学校の小学校第６学年の原則として全児童
- ・大阪市立小林小学校では、第６学年 １３名

令和8年度「全国学力・学習状況調査」大阪市立小林小学校の結果概要

- 国語科は、昨年度よりも平均正答率が下がった。
- 算数科は、昨年度よりも平均正答率が上がった。
- 平均無回答率は、国語科・算数科の2教科とも全国平均および大阪市平均よりも無回答率が高かった。

分析から見えてきた成果・課題

教科に関する調査より

【国語】

国語科の学習指導要領の内容では、「A話すこと・聞くこと」について、大阪市平均をやや上回った。しかし、全国平均ならびにそれ以外の領域は、全国平均および大阪市平均より低かった。特に、「(2)情報の扱い方に関する事項」「B書くこと」については、全国平均および大阪市平均を他の領域より更に下回っており、「(1)言葉の特徴や使い方に関する事項」「C読むこと」についても課題がある。

【算数】

算数科の学習指導要領の内容では、「C測定」について、全国平均および大阪市平均を上回った。「A数と計算」「B図形」「C変化と関係」「Dデータの活用」においては、全国平均および大阪市平均を下回る結果となった。基礎・基本の学力の定着させていくことが課題である。

質問調査より

「自分には、よいところがあると思いますか」の質問では、全国や大阪市のもっとも肯定的な回答より下回っているが、今年度は昨年度の結果と比較してもっとも肯定的な回答が上回っている。(R6:33.3%、R7:35%、R8:36.8%)学級での取り組みや、教員が児童のよいところを認めることで、自分のことを大切な存在と感じられる児童が増えていると考える。

「学校の授業時間以外に、普段(月曜日から金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか(学習塾で勉強している時間や家庭教師の先生に教わっている時間、インターネットを活用して学ぶ時間も含む)」の質問では、「全くしない」が26.3%であった。昨年度の30%と比較して改善がみられるが、家庭学習が定着していない児童が一定数いることは引き続き課題であると考ええる。

今後の取組(アクションプラン)

○主体的・対話的で深い学びの推進

ティーチング・エンパワーメント事業を活用し、研究教科である算数科を中心に、スクールアドバイザーの指導を受け学校全体で授業改善を行う。児童一人ひとりが学習した内容を理解し、未知の事象の解決に対応するための土台となる基礎・基本の学力を身につけられるようにする。児童が課題を見出し、自ら進んで解決策を考えたり、場面に応じた話し合い活動を充実させたりして、児童が考えを深める場の設定を行う。

○ICT機器を活用した教育の推進

1人1台学習者用端末を活用し、学習意欲を向上させ、個別最適化された学習環境を充実させる。

○自己肯定感を高める取り組み

生活を振り返るアンケートの活用や、児童一人ひとりが活躍できる場を設定するなど、自己肯定感を高める取り組みを継続していく。

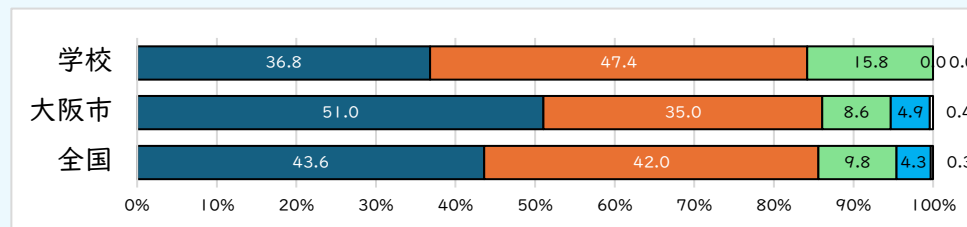
令和8年度 全国学力・学習状況調査 児童質問調査より

■ 1 ■ 2 ■ 3 ■ 4 ■ 5 ■ 6 ■ 7 □ その他・無回答

質問番号 質問事項

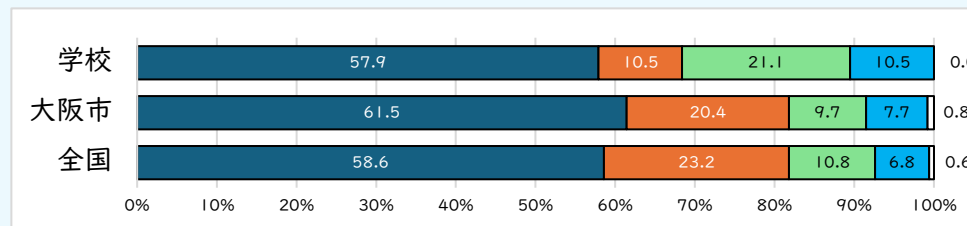
※集計値を四捨五入するため、横軸合計が100.0%にならない場合があります。

(8)	自分には、よいところがあると思いますか
-----	---------------------



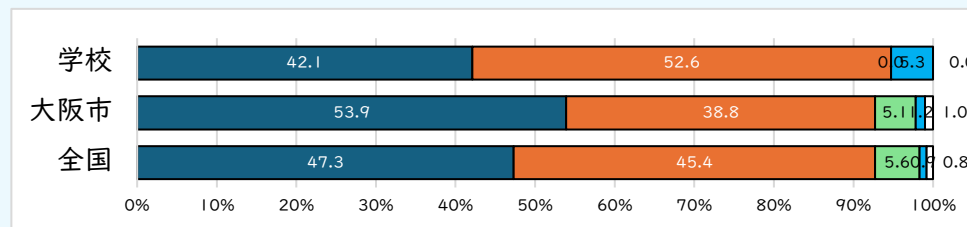
- 1 当てはまる
- 2 どちらかといえば、当てはまる
- 3 どちらかといえば、当てはまらない
- 4 当てはまらない

(10)	将来の夢や目標を持っていますか
------	-----------------



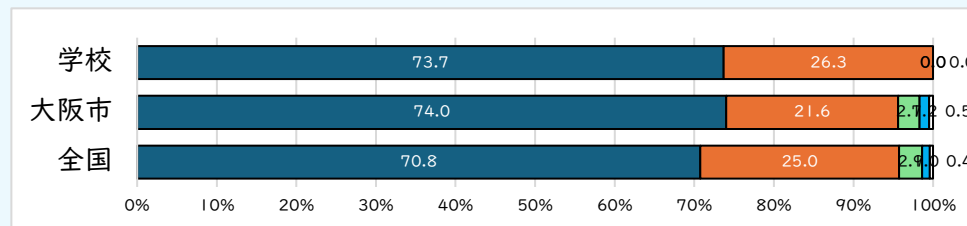
- 1 当てはまる
- 2 どちらかといえば、当てはまる
- 3 どちらかといえば、当てはまらない
- 4 当てはまらない

(11)	人が困っているときは、進んで助けていますか
------	-----------------------



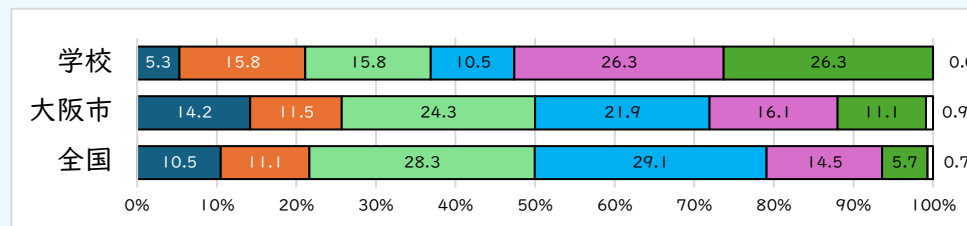
- 1 当てはまる
- 2 どちらかといえば、当てはまる
- 3 どちらかといえば、当てはまらない
- 4 当てはまらない

(14)	人の役に立つ人間になりたいと思いますか
------	---------------------



- 1 当てはまる
- 2 どちらかといえば、当てはまる
- 3 どちらかといえば、当てはまらない
- 4 当てはまらない

(23)	学校の授業時間以外に、普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか（学習塾で勉強している時間や家庭教師の先生に教わっている時間、インターネットを活用して学ぶ時間も含む）
------	--



- 1 3時間以上
- 2 2時間以上、3時間より少ない
- 3 1時間以上、2時間より少ない
- 4 30分以上、1時間より少ない
- 5 30分より少ない
- 6 全くしない

令和8年度全国学力・学習状況調査 学校質問調査より

■ 1 ■ 2 ■ 3 ■ 4 ■ 5 ■ 6 ■ 7 □ その他・無回答

質問番号

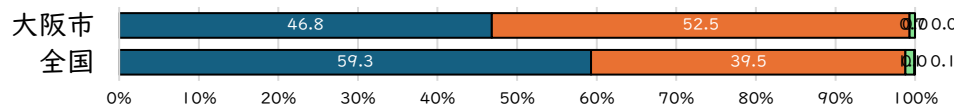
質問事項

※集計値を四捨五入するため、横軸合計が100.0%にならない場合があります。

(11)

調査対象学年の児童に対して、前年度までに、学校生活の中で、児童一人一人のよい点や可能性を見付け評価する（褒めるなど）取組を行いましたか

【学校の回答】 1 よく行った

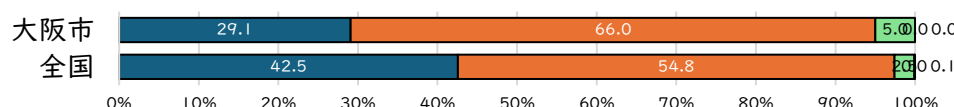


1 よく行った
2 どちらかといえば、行った
3 あまり行わなかった
4 全く行わなかった

(17)

児童の姿や地域の現状等に関する調査や各種データなどに基づき、教育課程を編成し、実施し、評価して改善を図る一連のPDCAサイクルを確立していますか

【学校の回答】 1 よくしている

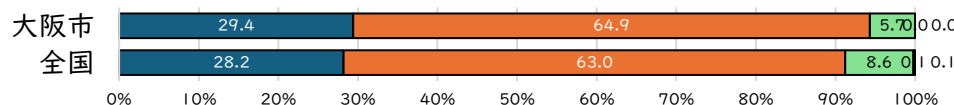


1 よくしている
2 どちらかといえば、している
3 あまりしていない
4 全くしていない

(31)

調査対象学年の児童に対して、前年度までに、学習指導において、児童一人一人に応じて、学習課題や活動を工夫しましたか

【学校の回答】 2 どちらかといえば、行った

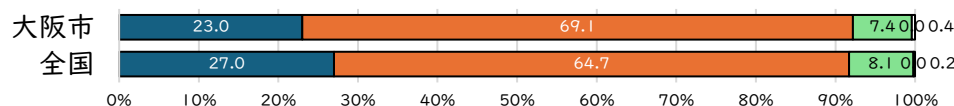


1 よく行った
2 どちらかといえば、行った
3 あまり行わなかった
4 全く行わなかった

(35)

調査対象学年の児童に対して、前年度までに、関連する既習事項を振り返り、知識を総合的に関連付ける学習活動を行いましたか

【学校の回答】 2 どちらかといえば、行った

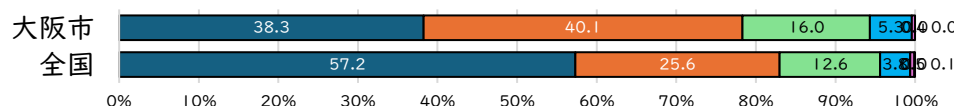


1 よく行った
2 どちらかといえば、行った
3 あまり行わなかった
4 全く行わなかった

(60)

調査対象学年の児童に対して、前年度までに、児童一人一人に配備されたPC・タブレットなどのICT機器を、授業でどの程度活用しましたか

【学校の回答】 1 ほぼ毎日（1日に複数の授業で活用）



1 ほぼ毎日（1日に複数の授業で活用）
2 ほぼ毎日（1日に1回くらいの授業で活用）
3 週3回以上
4 週1回以上
5 月1回以上
6 月1回未満